

「庄内の美術家たち 5～洋画・20世紀の幕開け」展

会場：鶴岡アートフォーラム ギャラリー2
会期：2010(平成22)年2月6日(土)～3月7日(日)
月曜休館 26日間

このたび、鶴岡アートフォーラムは「庄内の美術家たち 5～洋画・20世紀の幕開け」展を開催いたします。

本展は、地域に関する芸術文化の動向をたどり、郷土ゆかりの作家・作品・資料を紹介する、平成17年度から続く「庄内の美術家たち」展のシリーズ第5回です。

今回のテーマは「洋画がどのように庄内へ受け入れられ発展を遂げてきたのか」とし、20世紀初頭(明治末～大正～昭和初期)に焦点を当て、当時の状況を現存する作品と資料でたどり、布施信太郎・悌次郎兄弟、高山長一郎、斎藤長三など当時の庄内美術文化を支えた出品作家たち11名の作品約50点と、その画業を紹介します。

また、併せて庄内における美術の歩みと当時の社会状況を紹介し、現代に受け継がれる郷土文化を顧みます。

■開場時間

9:30-18:00 (入場は17:30まで) *月曜休館

■観覧料

一般200(160)円/高校・大学生100(80)円

*中学生以下無料

* () 内は20名以上の団体料金

* 心身障害者の方は半額、介助者は無料

* 学校の教育活動として観覧する場合(引率教員含む)は無料

* 高校・大学生には高専生、専門学校生を含む

主催：鶴岡アートフォーラム/鶴岡市教育委員会

共催：財団法人 致道博物館

企画：鶴岡アートフォーラム/財団法人 致道博物館

(お問い合わせ) 鶴岡アートフォーラム
〒997-0035 山形県鶴岡市馬場町13-3
TEL/0235-29-0260 FAX/0235-22-6051

出品作家

1. 富樫 孝造 とがし こうぞう 酒田市出身
1887(明治20)年～1952(昭和27)年
2. 内藤 秀因 ないとう しゅういん 庄内町出身
1889(明治23)年～1987(昭和62)年
3. 石井 弥一郎 いしい やいちろう 遊佐町出身
1898(明治31)年～1972(昭和47)年
4. 布施 信太郎 ふせ しんたろう 鶴岡市出身
1899(明治32)年～1965(昭和40)年
5. 布施 悌次郎 ふせ ていじろう 鶴岡市出身
1901(明治34)年～1992(平成4)年
6. 高山 長一郎 たかやま ちやういちろう 酒田市出身
1903(明治36)年～1967(昭和42)年
7. 戸田 みつき とだ みつき 酒田市出身
1906(明治39)年～1996(平成8)年
8. 土佐林 豊夫 とさばやし とよお 鶴岡市出身
1907(明治40)年～1972(昭和47)年
9. 小野 幸吉 おの こうきち 酒田市出身
1909(明治42)年～1930(昭和5)年
10. 斎藤 長三 さいとう ちやうぞう 酒田市出身
1910(明治43)年～1995(平成6)年
11. 菅原 みつる すがわら みつる 酒田市出身
1911(明治44)年～1947(昭和22)年

以上、11名(生年順)

EVENT

■ギャラリートーク

【日時】2月7日(日)、21日(日)、3月7日(日)
いずれも14:00～

【会場】鶴岡アートフォーラム ギャラリー2

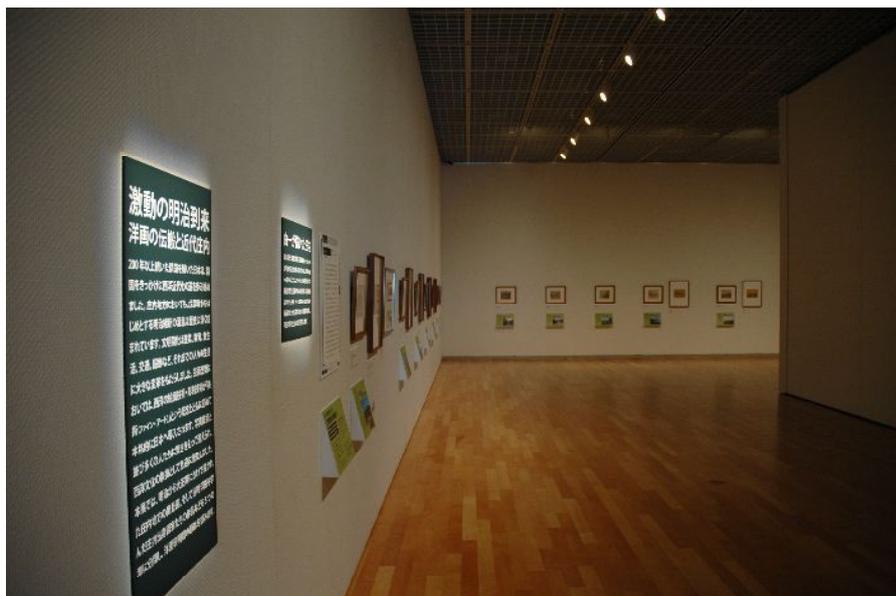
【参加費】無料(観覧券が必要です)

【申込み】不要

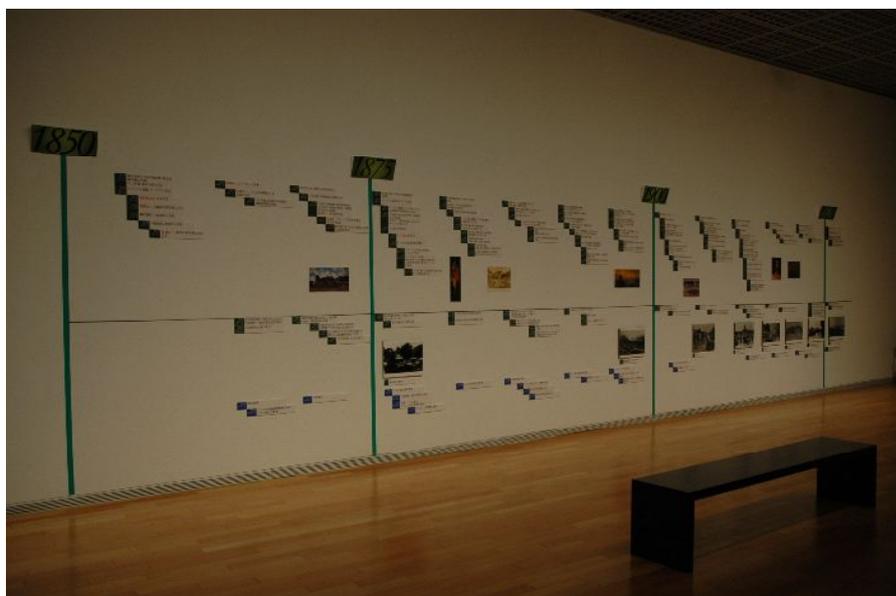
(開始5分前に展覧会場へお集まりください)

【内容】学芸員による作品解説を行います。

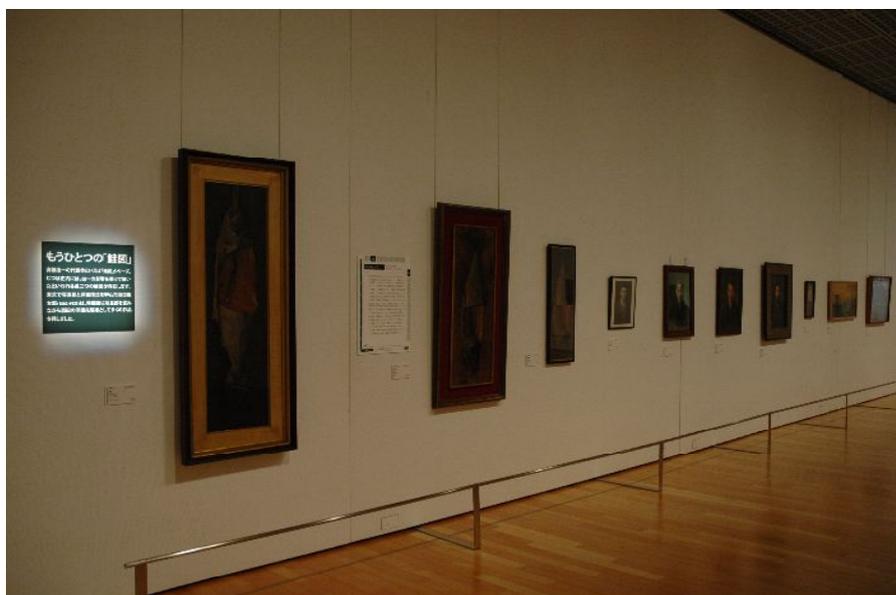
■昨年度「庄内の美術家たち シリーズ第4回～庄内の洋画黎明期」展の会場風景



庄内の風景を描いた高橋由一を紹介



庄内における美術の歩みと社会状況を年表で紹介



庄内の洋画家 池田亀太郎を紹介